

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン“フルミスト”について

※予約枠は10月2日、9日木曜日の午後、15時30分～16時15分となります(現時点でとなりますが、今後10月23日等に延長する可能性もあります)。

※お電話での予約となります。診療時間内にお電話ください。

※接種本数に限りがあります。接種本数を超えた場合には締め切りとさせていただきます。お早めにご予約ください。

※接種料は¥8,500(税込)です。

※ワクチン確保のためキャンセルはできません(体調不良等による日程変更は可能です)。

※従来の注射型ワクチンの予約は後日開始します。ホームページ上でお知らせしますのでそちらをご覧ください。

特徴

- ・経鼻ワクチンです。点鼻します。注射はしません。
- ・生ワクチンです。発症予防効果は従来の注射型のインフルエンザワクチンと同等と言われています。
- ・1回接種です(従来の注射型インフルエンザワクチンは13歳未満のお子さんでは2回接種です)。

効果

・生ワクチンであり従来の不活化ワクチンに比べ発症予防効果は高いというデータもありますが、現時点(2025年9月)での日本小児科学会の公式見解では従来の注射型ワクチンと同等とされています。

接種可能年齢

・接種可能年齢は2～18歳です。6か月から1歳のお子さんと19歳以上の方は注射型ワクチンとなります。

接種できない方

- ・他の生ワクチンと同様に、免疫抑制状態の方は接種できません。また妊娠している方も接種できません。
- ・フルミストは安定剤としてゼラチンを含有しています。ゼラチンによるアナフィラキシーを起こしたことがある方は接種できません。
- ・「重度の喘息を有する者又は喘鳴の症状を呈する者」は接種要注意者(接種の判断を行うに際し注意を要する者)とされています。当院では、日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会の「経鼻弱毒生インフルエンザワクチンの使用に関する考え方」に従い、喘息の方ではフルミスト接種は推奨しません(従来の注射型ワクチンを接種してください)。
- ・「鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対してアレルギーを呈するおそれのある者」は接種要注意者とされています。当院では卵アレルギーの方のフルミスト接種は推奨しません。

- ・授乳している方に関しては当院ではフルミスト接種は推奨しません。
- ・アスピリン内服中の方は接種要注意者とされています。フルミストではなく従来の注射型ワクチンを

受けてください。

接種に注意が必要な方

・重度の免疫不全者と接触する機会がある方では注意が必要です。経鼻生ワクチンのため、接種後数日から10日間ほどは鼻汁や唾液からワクチン由来のウイルスが見つかることがあります。他の人への感染力は非常に弱いと考えられていますが、飛沫または接触により他の人にうつす可能性があるため、ワクチン接種後1～2週間は重度の免疫不全者との密接な関係を可能な限り避けてください。もしくはフルミストではなく従来の注射型ワクチンを受けてください。

●当院では他の生ワクチンとの接種間隔を4週間以上とさせていただきます。

副反応

接種後1～2週間の間に鼻水・鼻づまり、咳などの感冒様症状を認めることがあります。鼻水・鼻づまりは約6割、咳は3割弱、喉の痛みは2割弱、頭痛は約1割、発熱は1割未満の方で認めたと報告されています。